

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------|----------|--------------|
| ○事業所名 | チャイルドウィッシュ岐南伏屋 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 12月 1日 | | 2026年 1月 20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 (回答者数) | 7 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 1日 | | 2026年 1月 20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 30日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | モンテッソーリ教育を取り入れ、子どもの興味や発達段階を正しく理解し、子どもが触ってみたい、やってみたいと思う環境を適切に用意し、子どもの自発的活動を促せるように支援している。 | 子どもたちが、自ら選んだ活動に満足いくまで繰り返し取り組みながら様々な能力を獲得できるように、さまざまな教材をよういしています。 | 今後も子どもたちの発達段階や課題に合わせた教材を用意し、より子どもたち本来の力を存分に発揮できる環境を整えていく。 |
| 2 | 子どもがやりたいということを優先的におこなえるために、活動内容を自ら選択できる機会を提供している。 | ・あらかじめ活動内容を伝えておき、子どもたちが主体的に活動内容を選択できるようにしている。 ・個々の発達段階に合わせた活動プログラムを提供し、子どもたちが意欲的に取り組めるように努めている。 | 児童の発達段階や課題を職員間で共通理解し、支援に活かせるよう検討していく。 |
| 3 | 園芸活動として、体験農園で畑をお借りして耕作から種まきや苗植え。収穫体験などを実際に体験してもらいました | 一宮市にある「体験農園 nodrida GARDEN」で畑をお借りして、実際に土を掘り、作物を植える場所を盛り上げる畝作りを行いました。さらに、いろいろな作物の種まきや苗植えを実際におこなってもらいました。 | 園芸活動としてさまざまな作物を作成する計画をたて、よりきめ細かな支援につなげられるようにしていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 保護者会など交流する機会を十分に設けられていない。 | 保護者会など交流ができるイベントの企画がじゅうぶんにできていない。 | 今後保護者会などのイベントを企画していく予定です。 |
| 2 | 地域の他の子どもと接する機会が少ない。 | 地域のイベントに参加する機会があまりなく、他の子どもたちとの関りがなかなかできていないのが現状 | こまめに地域のイベントをチェックし、子ども達が参加をしていけるようにする。 また、初めて会うお友達との関わり方を伝えていく必要がある |
| 3 | | | |